

進和学園「いのちの森づくり友の会」会報（第2号）

<http://www.shinwa-gakuen.or.jp/>

進和学園の福祉工場「しんわルネッサンス」が稼働して早くも5年が経過しました。宮脇昭先生（横浜国立大学名誉教授）のご指導のもと、2006年4月22日、新工場の周囲に「シイ・タブ・カシ」類の常緑広葉樹を中心に、高中低木52種類／4,888本の苗木を植えました。30～50cm程の小さな苗が、今では5～6mに育ち、私達を包み込むように豊かな森の景観を見せています。



植樹祭（2006年4月）



植樹1年半後（2007年10月）



植樹5年後（2011年4月）

「しんわルネッサンス」の森～あれから5年！こんなに大きくなりました！～

この間、私達は、リーマンショックによる世界的不況や東日本大震災といった未曾有の苦難に直面しました。人間の身勝手な経済行為は、いつか破綻すること、そして自然の営みの前では人間は小さく無力であることを痛感しました。また、日本人は物が溢れる豊かな生活に麻痺し、本当に大切なものは何かを忘れ、目標を見失っているように思われます。自然への畏敬の念と謙虚な姿勢を取り戻し、人との絆を大切にして、「真の豊かさ・幸せとは何か？」を問い直す必要があるのではないのでしょうか？

「いのちの森づくり」プロジェクトは、ささやかな取り組みではありますが、私達が忘れかけている大切なものを呼び起こしてくれる、命の尊さを改めて教えてくれる営みであると信じています。「福祉・環境・教育・労働」の連携を目指す本プロジェクトへのご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。



2011年6月吉日

進和学園「いのちの森づくり友の会」事務局

TEL：0463-58-5267 FAX：0463-58-2675

■ 進和学園「どんぐりグループ」紹介

「しんわルネッサンス」所属の次のメンバーが、日々作業に励んでいます。

<利用者本人>

大岩 秀幸	小西 高幸
小松 竜一	鈴木 あけみ
曾我 豊美	竹中 美記
田辺 達也	久永 小百合
柳 由夫	山本 信行
吉本 忠広	

<職員>

遠山 雄志
須藤 求巳
苫米地有紀
須藤 剛士

<コンサルティング>

大上 圭一（エスペックミック株式会社）

<サポーター>

諸星 孝恵（ハウスオーナー）
中野 弘美（諸星さんの妹さん）
妹尾 祐子（研進－就業支援団体－）
奥村 佳代子（研進－就業支援団体－）



～ 進和学園との出会いは ～

まじえる会 会長 谷 衛

進和学園との出会いは、今から5年前の福祉工場「しんわ
ルネッサンス」での植樹祭をお手伝いしたことに始まる。

その後も様々な機会で、学園の皆さん自作の手工芸品、生鮮
野菜、クッキーなど間近で接し、特にクッキーの味はプロ級の
味と思った。「施設の方々の真心を込めた品々をもっと広く世間
に知ってもらっても良いのでは」と思い、その年の秋に開催さ
れた海老名植樹祭で「是非出店を」と願い、関係部門と折衝し
出店許可を頂いた。当日は雨混じりの天候だったが、クッキー
他の商品は完売。完売後にお会いした学園の皆さんの嬉しい笑
顔は今でも忘れられない。これを機にあちらこちらの植樹祭で
クッキーの出店販売が成功しており軌道に乗った様だ。



谷さん（中央）と 「まじえる会」の
鈴木純子さん（左）& 妹尾祐子さん（右）



もう一段階前に出ようとして、どんぐりの苗木の育成を企画
実行した。手始めに湘南平でどんぐり収集を海老名植樹祭後に
実施。初めての体験でもあり、時期も遅くあまり集まらなかつ
たが、これが、進和学園における「いのちの森づくり」のキック
オフに当たるようだ。

研進の方が平塚の柳町西公園のタブノキの古木の下に多くの
苗木が自然に発芽しているのを発見し、みんなで掘り出しに
行った。沢山の幼木を収穫し、その後学園に戻り晩秋のもう暗
くなった畑でみんな総がかりで一心不乱にポット苗作りに熱中
したことも思い出す。



柳町西公園（平塚市）のタブノキの前で
（2006年11月）

これらの苗木ポット数が非常に多くなり、ビニールハウス1
棟では足りなくなり、もう1棟増やして更に飛躍された。エス
ペックミック社で作った幼木を仕分けしてビニールポットへ
移し変え作業などに「まじえる会」も参加し、みんなで和気藹
々おしゃべりをしながら淡々と作業を進め、今までの最高数
5,350個のポット苗を作ったりした。

ひとつひとつのどんぐりの生命力を引き出しその成長を日
々願う過程で命を育てる体験をしつつ苗木を社会に送り出す。
誰かがその苗を大切に大地に植える。数年間は下草刈りで人の
手が入るが、後は木自体が独り立ちして大きく育ち、防風林、
防火林、防音林等の役目を果たしつつ大気中の炭酸ガスをその
樹体に蓄える。時には人に憩いの場も提供する。



「まじえる会」の皆様とポット苗作り
5,350個は過去最多記録（2007年6月）

これらはすべて学園の方の最初の努力が多数の人の輪を作り、
将来の人々に地球環境に多大の貢献をしているのです。いつか
皆さんが大きくなった木を見上げる時、自分達の行為は社会に
人類にとって素晴らしいもの、もっと誇っていいものだと思
いが湧き上がることでしょう。「まじえる会」もこうした皆さん
の活動を支援していきます。進和学園「いのちの森づくり」の
今後の益々のご発展を期待しています。

■ 植樹活動への参加・「苗」の受注実績

進和学園が参加した 2010 年度の植樹イベントの内、1,000 本以上を植えた事例をご紹介します。

日 程	植樹祭・植樹場所	植樹本数	受注本数	進和学園の活動・苗木寄贈
2010. 4.29	国立神奈川病院植樹祭 (秦野市)	3,000 本	200 本 (ネズミミチ)	利用者・職員 6 名参加 「友の会」より 3 種類 700 本寄贈
2010. 5.2	全国植樹祭 (サテライト会場) 湘南国際村めぐりの森	5,000 本	2,500 本 (8 種類・小田原会 場 200 本を含む)	利用者・職員 19 名参加 「友の会」より 4 種類 500 本寄贈
2010. 5.23	全国植樹祭 (本会場) 秦野戸川公園、足柄森林公園	9,000 本	500 本 (4 種類)	利用者・職員 5 名参加 (秦野戸川公園)
2010. 9.18	トラック協会植樹祭 (湘南国際村めぐりの森)	1,500 本	847 本 (10 種類)	利用者・職員 10 名 準備作業に参加
2010. 10.19	川崎市立西生田小学校	1,000 本	—	利用者・職員 18 名参加 「友の会」より 28 種類 970 本寄贈
2010. 11.2	小田原荻窪森林再生プロジェ クト植樹祭 —進和学園主催—	2,080 本	2,080 本 (17 種類) —助成金活用—	一般参加を含め 57 名参加 (社) 国土緑化推進機構の助成を受け、 進和学園栽培の苗木を植樹
2010. 11.13	第 2 回湘南国際村めぐりの森 植樹祭	6,000 本	2,730 本 (8 種類)	利用者・職員 21 名参加 「友の会」よりタブノキ 500 本寄贈



国立神奈川病院植樹祭



全国植樹祭 (秦野戸川公園)



川崎市立西生田小学校



2010 年度の全国植樹祭は神奈川県で開催されました。進和学園の苗木を湘南国際村はじめ県内各所に沢山植えることができました。マスコットの「かなりんちゃん」は植樹会場で大活躍。横浜の白根学園さんが手作りした「かなりんちゃん」クッキーも大好評でした。



～ 神奈川県、地主の辻村百樹様、関係の皆様のご協力を得て、素適な植樹祭となりました！皆様に感謝！！～



小田原荻窪森林再生プロジェクト植樹祭 ～ (社) 国土緑化推進機構「緑の募金交付金」による植樹 ～
(「かながわ森林再生 50 年構想」に基づき、進和学園で育てた広葉樹の苗木 2,080 本を植えました)

■ 進和学園のポット苗ご購入者様に感謝！

私達が栽培したポット苗は、多くの皆様によって色々な場所に植えて頂いています。2010年度に1000本以上をご購入頂いた企業・団体・個人様は、次の通りです。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。
(2010年4月～2011年3月末：本数順・五十音順に掲載)

	ご購入者様	本 数
5,000本以上	朝日新聞社 様	6,594 <1年生苗>
2,000本以上	神奈川県 様 (全国植樹祭関係)	2,500
	湘南国際村めぐりの森づくり部会 様	2,327
	(社)国土緑化推進機構 様 (助成金)	2,080
1,000本以上	エスペックミック (株) 様	1,796 (累計6,328)
	OTODAMA FOREST STUDIO 様	1,250
	NPO 法人 Good Day 様	
500本以上	平塚市 様 (湘南ひらつかパークゴルフ場)	808
	NPO 法人 地球の緑を育てる会 様	738 (累計1,138)
300本以上	NPO 法人 Return to Forest Life 様	432
	(ワタミ (株) 様)	
	(株) 木村植物園 様	367
	(財) かながわトラストみどり財団 様	310 (累計 490)
	(神奈川県「成長の森事業」)	
200本以上	(株) 日本教育新聞社 様	300 <1年生苗>
	(株) ジャパンニューアルファ 様	286 (累計 521)
	古賀剛志 様	225
	国立神奈川病院 様	200
	逗子市 様 (逗子小学校)	200
100本以上	湘南国際村フェスティバル (苗木販売出店)	122 <1年生苗>

■ 朝日新聞社様「地球教室」

朝日新聞社様の環境教育「地球教室」の参加賞として、全国の小学生約 6,600 人に進和学園の苗木 (1年生苗約 10cm) がプレゼントされました。学校やご家庭で育てて頂き、樹高が 30cm 以上になったら校庭や近隣に植えて頂ければ有難く思います。

朝日新聞環境教育プロジェクト
はじめよう。未来へのアクション！

地球教室 参加賞
2010

2011年は「国際森林年」です。
苗木を植え、育てることで、
樹木と人間との関わりを考えましょう。
国連の「グリーンウェイブ (緑の波)」運動は
3月1日 ～ 6月15日です。
主催：朝日新聞社 協力：社会福祉法人進和学園どんぐりグループ



■ 神奈川県「成長の森事業」

「かながわトラストみどり財団」様が運営する「成長の森」は、赤ちゃんの誕生を機に寄附金を募り植樹を行う神奈川県の事業です。昨年に続いて、進和学園の苗木をご発注頂きました。



神奈川県「成長の森事業」の受注実績		
2009年度	コナラ	180本
2010年度	コナラ	310本
累 計		490本



成長の森事業
やどりき水源林

湘南国際村めぐりの森

神奈川県横須賀市にある湘南国際村の約112haの広大な土地は、開発計画が見直され、2010年3月末に三井不動産より神奈川県に無償譲渡されました。土地の有効活用を検討の結果、「湘南国際村めぐりの森」の名称で森林再生を目指す計画が策定されました。官民一体となった「協働参加型めぐりの森づくり推進会議」が結成され、(株)研進と進和学園もメンバーに参画させて頂いています。

毎日新聞（2010年5月3日）

植物の苗を植える森再生プロジェクトの参加者たち



湘南国際村で
プレ植樹祭1500人
23日に南足柄、秦野
両市で開かれる第61回
全国植樹祭に先立ち、
サテライト会場の湘南
国際村（横須賀市、葉
山町）で2日、県や同
市町などの森林再生プ
ロジェクトが行われ、
市民約1500人が5
000本を植樹した。
会場の同村「めぐり
の森」地区は、経済情

勢の悪化で未整備のま
ま残ったエリア。緑化
保全に計画変更して3
月、県に無償譲渡され
た。
プロジェクトは、横
浜国大名譽教授で地球
環境戦略研究機関国際
生態学センター長、宮
協昭氏が指導。苗の約
半数は「進和学園（平
塚市）の施設の知的障
害者が育てたという。
参加者は斜面の170
0平方メートルに常緑広葉

樹、落葉広葉樹の計20
種以上の苗を植えた。
特設舞台での事前説
明では、宮協氏が松沢
成文知事やかながわ環
境大使の歌手、白井貴
子さん、タレント・キ
ャスターの小林麻央さ
んらを指導。ユーモア
を交えて会場を沸かせ
「小さな苗がやがて木
に育ち、大量の二酸化
炭素を閉じこめる」と
話した。
【田中義宏、写真も】



全国植樹祭サテライト会場に指定（2010.5.2）



宮協昭先生のお話を聴く参加者（2010.11.13）

■ OTODAMA FOREST STUDIO 様 & NPO 法人 GoodDay 様

湘南国際村で行われた OTODAMA FOREST STUDIO 2010（10月17日）では、1万人近くがコンサートに集い、「音楽」と「森づくり」のコラボが実現！ ポット苗づくり体験イベントも好評でした。コンサート収益の一部から進和学園の苗木1,250本を購入頂き、11月13日の第2回湘南国際村めぐりの森植樹祭において植えられました。



継続的な苗木ご利用に感謝！

■ エスペックミック（株）様

宮脇方式（密植・混植方式）をはじめとする「森づくり」に豊富なノウハウと実績を有する同社は、進和学園の「いのちの森づくり」プロジェクトを応援して下さいます。

進和学園では、同社のコンサルティングを受けて苗木の栽培に当たると共に、販路の確保についても親身なるご支援を頂いています。

（写真：エスペックミック（株）様ご指導
獨協中学・高校植樹祭 -2011. 2. 19-）



■ NPO法人Return to Forest Life 様（ワタミ（株）様）

居酒屋「和民」をはじめ外食事業を中心に展開される同社では、2007年にNPO法人を設立して「ワタミの森」を拠点に森林再生活動に取り組まれています。千葉県山武地区のサンプスギの85%が病気により衰弱していることから、社員の皆様が間伐を行い広葉樹の植樹を地道に実践されています。苗木の出荷が途絶える冬季も含めて、毎月、進和学園に苗木をご注文下さっており、私達にとって大きな励みになっています。



■ （株）ジャパンニューアルファ 様

神奈川県を中心に遊技・アミューズメント・温浴・ホテル事業を展開されている同社は、CSR（企業の社会的責任）の一環として環境問題にも熱心に取り組まれています。

社員の皆様が各店舗での植樹を進めておられ、2009年より進和学園栽培のポット苗を継続してご購入頂いています。

（写真提供：（株）ジャパンニューアルファ 様）



有難い植栽工事の一括受注

地盤造成から苗木植付等の一連の作業を、お客様より一括してご発注頂ける事例が出て来ました。障がい者ご本人の「働き甲斐」や工賃アップにも繋がるため、大変有難く思っています。

■ 湘南ひらつかパークゴルフ場・外構植栽（写真上）

平塚市より「湘南ひらつかパークゴルフ場」（平塚市上吉沢）の外構緑地の植栽工事を優先発注頂き、進和学園の苗木808本を植えることができました。行政のご理解ご支援に感謝申し上げます。



■ 古賀様ご自宅（東京練馬）の植栽（写真下）

東京の練馬にお住まいの古賀剛志様より、ご自宅の庭の植栽工事を進和学園にご発注頂きました。古賀様ご家族と学園「どんぐりグループ」が、一緒に楽しいミニ植樹祭を行いました。（2010. 11. 20）



■ 「いのちの森づくり友の会」による基金 (収支報告：P.16 をご参照下さい)

本会がスタートしてから2年4か月、2010年度は、個人会員：53名様、団体会員：17団体様にご加入頂き、前年度繰越金と合わせて約460万円の基金となりました。

皆様から頂いた会費及び寄附金は、「いのちの森づくり」のための基金として植樹活動を通じた「環境」への貢献及び進和学園「どんぐりグループ」メンバーの工賃に還元される等、有効に活用させて頂いています。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

ご寄附ご芳名 (10万円以上)	金額 (累計：2008年12月～2011年3月末)
株式会社サン・ライフ 様	160 万円
本田技研工業株式会社 様	100 万円
株式会社研進 様	86 万円
出縄文子 様	30 万円
土方富美子 様	30 万円
出縄貴史 様	22 万円
高橋正敏 様	21 万円
湘南福祉アクティビティ 様	20 万円
エスベックミック株式会社 様	10 万円
ミドリ安全株式会社 様	10 万円
ご寄附ご芳名 (1万円以上：五十音順)	
個人：石上節子様、逸見伸夫様、井上三郎様、近江英彦様、荻原潮絵様、加藤義幸様、川下都志子様、木村俊介様、串山義勝様、熊坂助三様、河野順子様、小清水勝敏様、小山和男様、酒井加代子様、杉山千鶴子様、二瓶智枝子様、根本敏子様、前原勝信様、室崎和夫様 団体：(宗) 円宗院様、(株) オウケイウェイヴ様 (寄附付ハガキ)、片野税務会計事務所様、(株) 昭和保険事務所様、(株) 田中紙店様、(株) 日本製紙グループ 本社様 (寄附付ハガキ)、日本ハム東販売 (株) 様、NPO 法人発達障害者父親会様、(有) ピージーエルジャパン様、(株) プレステ様、(株) ホンダプリモ神奈川南様、ラムの会様、(株) リースキン神奈川様、募金：(株) 帝プランニング様・「銀座フォーラム」募金、しんわルネッサンス&研進・募金箱	



本田技研工業 (株) 様

Honda 様には、自動車部品の仕事を永年に亘りご発注頂き、大変お世話になっていますが、「いのちの森づくり基金」に100万円のご寄附を賜りました。

(本田技研・青山本社にて／Honda の皆様・アシモ君と共に)



(2011.1.20)



(株) サン・ライフ 様

冠婚葬祭・福祉・文化事業を展開される (株) サン・ライフ様 (神奈川県平塚市) には、昨年に続いて2010年度も貴重なご寄附を賜りました。

(サン・ライフ様本社にて／比企社長様－右から2人目－、原田執行役員様－左から2人目－と共に／2011.3.29)

< (株) サン・ライフ様ご寄附による2010年度植樹実績 >

- ① 国立神奈川病院 (4/29) : 500本
 - ② 湘南国際村めぐりの森 (5/2) : 500本
 - ③ 湘南国際村めぐりの森 (11/13) : 500本
 - ④ 国道134号線千石河岸側道 (12/15) : 500本
- 合計：2,000本

■ 「いのちの森づくり基金」の活用実績

会員の皆様から頂いた会費や寄附金は、進和学園「いのちの森づくり基金」に寄附され、以下の植樹事案における苗木代金及び植樹作業費用に充当の上、進和学園「どんぐりグループ」で働くメンバーの工賃に還元させて頂きました。（収支報告：P.16 をご参照下さい）

No	日 程	植 樹 ・ 育 樹 事 案	金 額（円）／ 相対団体
1	2010年 4月29日	秦野市民一斉植樹大会（国立神奈川病院）苗木提供 ・場所：国立神奈川病院（神奈川県秦野市落合） ・樹種・本数：高木700本 ・作業：配送・植樹（植樹祭参加）	290,413 （国立神奈川病院様）
2	5月 2日	湘南国際村（全国植樹祭サテライト会場）プレ植樹祭苗木提供 ・場所：湘南国際村（神奈川県横須賀市） ・樹種・本数：高中低木4種類 500本 ・作業：配送・植樹（植樹祭参加）	236,122 （全国植樹祭実行委員会様）
3	5月19日 21日 （2日間）	神奈川県立秦野曽屋高校ミニ植樹祭苗木提供 ・場所：神奈川県立秦野曽屋高校・校庭 ・樹種・本数：高中低木9種類 69本 ・作業：配送・地盤造成・植樹・マルチング（植樹指導）	64,192 （神奈川県立秦野曽屋高校様）
4	5月23日	全国植樹祭（本会場：秦野戸川公園）参加 ・場所：秦野戸川公園 ・作業：植樹（植樹式典参加）	18,655 （全国植樹祭実行委員会様）
5	6月27日	逗子市立小学校・逗子蘆花記念公園植樹イベント苗木提供 ・場所：逗子市立小学校・逗子蘆花記念公園 ・樹種・本数：高中低木4種類 60本 ・作業：配送	27,375 （ほととぎす隊自然部会様）
6	7月 6日	平塚市内2ヶ所育樹作業 ・場所：①県防災備蓄基地（北豊田）－2009.11.4 植樹－ ②国道134号線高浜台沿道－2009.12.7 植樹－ ・作業：除草・清掃（ゴミ拾い） ＜②では、タブノキ苗木20本補植＞	70,794 （神奈川県平塚土木事務所様）
7	9月 1日 4日 （2日間）	神奈川県立秦野曽屋高校ミニ植樹祭苗木提供 ・場所：神奈川県立秦野曽屋高校・校庭 ・樹種・本数：高中低木11種類 149本 ・作業：配送・地盤造成・植樹・マルチング（植樹指導）	128,762 （神奈川県立秦野曽屋高校様）
8	9月17日 29日 （2日間）	湘南国際村「めぐりの森」育樹作業 ・場所：湘南国際村「めぐりの森」 （横須賀市／2010.5.2 植樹、約1,700㎡） ・作業：除草	190,132 （湘南国際村 めぐりの森づくり部会様）
9	10月 4日	平塚市内2ヶ所育樹作業（7月6日に続いて本年度2回目） ・場所：①県防災備蓄基地（北豊田）－2009.11.4 植樹－ ②国道134号線高浜台沿道－2009.12.7 植樹－ ・作業：除草・清掃（ゴミ拾い）	58,200 （神奈川県平塚土木事務所様）
10	10月15日 18日 19日 （3日間）	川崎市立西生田小学校植樹祭苗木提供 ・場所：川崎市立西生田小学校・校庭 ・樹種・本数：高中低木 970本 ・作業：配送・事前準備・植樹・マルチング（植樹指導）	577,687 （川崎市立西生田小学校様）
11	11月 9日 12日 （2日間）	「サン・ライフの杜」植樹指導・作業 ・場所：（株）サン・ライフ慰霊塔（小田原市久野） ・作業：配送・地盤造成・植樹・マルチング（植樹指導） （注）①「かながわ森林再生50年構想」に基づく植樹として本基金を活用。 ②苗木は、（株）サン・ライフ様にご購入頂きました。	28,782 （株式会社サン・ライフ様）
12	11月13日	第2回湘南国際村めぐりの森植樹祭苗木提供 ・場所：湘南国際村「めぐりの森」（横須賀市） ・樹種・本数：タブノキ 500本 ・作業：配送・植樹（植樹祭参加）	239,350 （湘南国際村 めぐりの森づくり部会様）

13	11月29日 30日 12月3日 (3日間)	神奈川県立伊勢原高校ミニ植樹祭苗木提供 ・場所 : 神奈川県立伊勢原高校・校庭 ・樹種・本数: 低木中心7種類 207本 ・作業 : 配送・地盤造成・植樹・マルチング(植樹指導)	171, 119 (神奈川県立伊勢原高校様)
14	12月15日	国道134号線千石河岸側道植樹イベント苗木提供 ・場所 : 国道134号線(上り線)平塚市千石河岸側道 ・樹種・本数: 高中低木 9種類 500本 ・作業 : 配送・植樹・マルチング(植樹指導)	237, 562 (神奈川県平塚土木事務所様)
15	2011年 2月1日	国道134号線千石河岸側道植栽地水遣り ・場所 : 国道134号線(上り線)平塚市千石河岸側道 -2010.12.15植樹- ・作業 : 水遣り・清掃(降雨不足による乾燥状態への対応)	12, 497 (神奈川県平塚土木事務所様)
16	2月10日 16日 (2日間)	湘南国際村めぐりの森草刈り ・場所 : 湘南国際村めぐりの森(横須賀市) ・作業 : 草刈り(灌木が混じるススキ草地の保全活動)	71, 406 (湘南国際村 めぐりの森づくり部会様)
17	2月18日 19日 (2日間)	「獨協の森」植樹祭 準備及びサポート作業 ・場所 : 獨協中学・高校(東京都文京区) ・作業 : ①地盤造成、竹串設置等(2/18) ②苗木・資材運搬、植樹祭サポート(2/19)	44, 362 (獨協中学・高校様/ エスベックミック株式会社様)
合 計			2, 467, 410 円

(注) 上記の内、N0.1、2、12、14 の4件の苗木2, 200本の内、2, 000本については、(株)サン・ライフ様からの寄附金を活用させて頂きました。

「いのちの森づくり基金」を活用して、進和学園の苗木が色々な所に植えられています！

神奈川県平塚土木事務所との連携による植樹(累計: 2,824 本)

神奈川県平塚土木事務所様のご支援を得て、植樹活動を進めています。植樹を行う公共のスペースをご紹介頂いて、進和学園「いのちの森づくり基金」より苗木を寄贈し地域の緑化に貢献しています。

この取り組みは、赤井かずのり県議会議員のお導きによるもので、植樹場所の確保と進和学園ご利用の障がいをお持ちの方々の社会参加及び工賃支給にも繋がっており、大変有り難く思っています。



国道134号線千石河岸側道(平塚市)

神奈川県平塚土木事務所、地元自治会及び(株)サン・ライフの皆様と500本を植樹しました。平塚土木事務所様との連携による3例目の植樹となりました。(2010.12.15)

神奈川県平塚土木事務所様との連携による植樹実績 累計 2,824 本 (2011年3月末現在)	
① 神奈川県防災備蓄基地	2009年11月 ネズミモチ 492 本植樹、2010年7、10月 育樹(除草)
② 国道134号線高浜台付近	2009年12月 高中低木 1,812 本植樹 2010年7、10月 育樹(除草・補植20本)
③ 国道134号線千石河岸側道	2010年12月 高中低木 500 本植樹/(株)サン・ライフ様ご寄附活用

学校の森づくり

進和学園では、「いのちの森づくり基金」を活用して「学校の森づくり」に取り組んでいます。未来の日本を背負う子供達や若者が、「森づくり」を通じて命の尊さや自然環境の大切さを学び、更には人間としての生き方を考えてもらえれば・・・！というのが私達の願いです。

進和学園「どんぐりグループ」のメンバーとの交流から、人との絆や思いやり、「福祉」への関心も抱いて頂けるかもしれません。正に「森づくり」は「人づくり」に通ずると思うのです。



川崎市立西生田小学校
進和学園より苗木 970 本をプレゼント！
(2010.10.19)

神 奈 川 新 聞 2010年(平成22年) 10月20日

西生田小「世界に酸素を」

世界各国で植樹活動をしている横浜国大名誉教授(植物生態学)の宮脇昭さん(82)も参加し、児童に木を植えることは、野鳥のためだけでなく、人間の命を守るためでもあることを知ってほしい、などと呼びかけた。

川崎市麻生区の市立西生田小学校(白井成幸校長)の1年生から6年生までの約930人が19日、シラカシなどの苗木を校内に植えた。植樹を通して愛校心や、自然を大切にする気持ちを養うべく、今後も取り組む。(鎌倉 創)

命を守る1000本植樹



富協さんからアトバイスを受けながら苗木を植える児童
川崎市麻生区の西生田小学校

スを受けながら、水につけ 栽さへは「自分の植え た苗木を丁寧に植えた。保 た苗が大きくなって、世界 水や除草のため、最後にわ に酸素を送るのが楽しみ」 らを載せた。 参加した5年生の渡辺有 と話していた。

シラカシなどを校内に

福祉・環境・教育 学校の森づくり



神奈川県立伊勢原高校 (写真左)

稲木校長先生は、地球温暖化に伴う地球環境への対応と生徒の皆さんが木を植えることの意義を説かれました。生徒会の皆さんとヤマザクラ他 207 本を植樹しました。(2010.12.3)



2011. 2. 19

獨協の森 植樹祭

獨協中学・高等学校 (写真左・上)

中学1年から高校2年までの約 100 名の生徒さん、先生、PTAの方々と一緒に 300 本の苗木を植えました。(2011.2.19)



■ 神奈川県立秦野曽屋高校との交流

福祉・ボランティア教育に熱心な同校では、田村校長先生はじめ諸先生のご指導の下、福祉委員会の生徒さんと進和学園「どんぐりグループ」メンバーとの交流を深めています。
ご招待頂いた文化祭「秋輝祭」では、一緒に植樹を行うと共に校内のイベントを楽しみました。

曽屋高校と福祉施設が交流
文化祭に平塚の「進和学園」を招き植樹
2010年9月11日号



暑い陽射しの中、協力し合って植樹した

秦野曽屋高校(田村幸久校長)が推進する「ボランティア・福祉教育」の一環として、9月4日に開催された文化祭「秋輝祭」に平塚市の社会福祉法人進和学園(出縄雅之理事長)の職員や利用者を招き、同高校内で植樹を行った。同学園が同高校に植樹をするのは今年5月に続いて2回目。

進和学園は、横浜国立大学名誉教授で植物生態学者の宮脇昭氏が提唱する「土地本来の木による本物の森づくり」を目指し、どんぐりの実から植樹用の苗を栽培するプロジェクト「いのちの森づくり」を行っている。栽培は同学園内の「どんぐりグループ」が担当。県の教育委員会が、同学園に福祉教育を推進する秦野曽屋高校を紹介したことで今年5月の植樹が実現、両校の交流が始まった。

この日は進和学園から職員と利用者17人が参加。秦野曽屋高校からは職員と生徒など約40人が集まった。どんぐりグループが苗まで育てたスダジイやタブ、サツキなどを、炎天下の気候のもと生徒は協力しあい、高校敷地内の「藤の広場」の花壇に合計148本の木を植えた。

植樹の後、両校は文化祭の模擬店で食事を購入し、一緒に昼食をとるなど交流を深めた。また、校舎内では同学園の活動をパネルで展示。パンやクッキーなどの手作り製品を販売した。

植樹に参加した秦野曽屋高校の生徒は「暑いけど楽しかった。元気に大きく成長してほしい」と感想を述べた。進和学園の職員遠山雄志さんは「これからも秦野曽屋高校と協力し、交流を続けていきたい」と振り返った。田村校長は「進和学園とは、植樹に限らず様々な形の交流をしていこうと考えている。積極的に交流し、生徒の福祉の心を育てたい」と話した。



秦野曽屋高校 (2010.5.21)
ミニ植樹祭の後、福祉委員会の生徒さん達と楽しい交流会を開きました。



秦野曽屋高校 (2010.9.4)
春と秋、2回の植樹を実施し、約220本を校庭に植樹しました。



■ ポット苗の出荷実績 ～ これまでに進和学園の苗木 36,229 本が植えられました！ ～

2010年度は、合計24,243本の苗木を出荷しました。累計では、36,229本となります。

	樹 種	本 数 (累計)		樹 種	本 数 (累計)
1	シラカシ	4,038 (6,157)	7	コナラ	1,507 (1,727)
2	アラカシ	3,588 (5,314)	8	シャリンバイ	1,014 (1,879)
3	タブノキ	3,026 (3,482)	9	トベラ	562 (562)
4	スダジイ	2,853 (3,648)	10	クヌギ	329 (547)
5	ネズミモチ	2,597 (4,665)		その他	2,532 (5,335)
6	アカガシ	2,197 (2,913)		合 計	24,243 (36,229)

横浜ゴム（株）様との連携による緑化活動

横浜ゴム（株）様と進和学園・研進は、2010年8月1日付で「苗木の提供に関する覚書」を締結しました。「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトを推進中の同社では、社員の皆様が苗木作りを行い、国内外事業所での植樹に加え、周辺地域への苗木提供活動を進めています。

同社保有の余剰苗木を進和学園に無償提供頂き、私達の「いのちの森づくり」において栽培を引き継がせて頂くこととなりました。ご寄贈頂いた苗木は、進和学園の「どんぐりハウス」にて大切に育て、植樹活動並びに作業メンバーの自立支援に活用させて頂いています。

神奈川新聞 2010年（平成22年）8月12日（木）



横浜ゴム（株）様からの苗木贈呈式

西田敏行所長様はじめ同社の皆様から、アラカシとシラカシの苗木を贈呈頂きました。

（横浜ゴム平塚製造所にて－2010.8.11－）

みさん49に苗木がそれぞれ手渡された。進和学園は、同市飯島に2棟の「どんぐりハウス」を構えており、中居さんらは「いたいた苗木を（ハウスで）大切に育てたい」と礼を述べた。（宮本 敏也）



進和学園「どんぐりハウス」をご視察される横浜ゴム・浜ゴム興産の皆様（2011.2.3）

横浜ゴム（株）様ご寄贈の苗木の活用実績		（2011年3月末現在／単位：苗木本数）	
樹種	ご寄贈実績累計	植樹実績累計	
シラカシ	3, 730	1, 100	
アラカシ	1, 160	800	
合計	4, 890	1, 900	
植樹実績事案		（単位：苗木本数）	
1. 小田原荻窪森林再生プロジェクト植樹祭（2010.11.2）	シラカシ 300 本、アラカシ 100 本、合計	400 本	
2. 第2回湘南国際村めぐりの森づくり植樹祭（2010.11.13）	シラカシ 700 本、アラカシ 700 本、合計	1, 400 本	
3. 国道134号線千石河岸側道植樹祭（2010.12.15）	シラカシ 100 本	合計 100 本	
		総計 1, 900 本	

■ いのちの森づくりグッズ ～ 売上げの一部が「いのちの森づくり基金」に寄附されます ～

● (株) オウケイウェイヴ 様

日本最大級のQ&Aサイトを運営されている(株)オウケイウェイヴ様に、進和学園が牛乳パックから作成している「森づくり寄附金付き手すきハガキ」をご利用頂いています。社長の兼元謙任様のメッセージに同社ロゴの赤いハートや黄色い桶太君等が刷り込まれています。



(株) オウケイウェイヴの兼元社長様はじめ皆様にお礼のご挨拶！
(東京恵比寿の同社本社にてー2011. 1. 26ー)

● 日本製紙グループ 様

日本製紙グループ様主催の丸沼高原（群馬県利根郡片品村）植樹祭は、全国より約 700 名が参加して実施されました。

進和学園の「森づくり寄附金付き手すきハガキ」（宮脇先生ハガキ）を参加賞としてご利用頂きました。

(2010. 5. 30)



日本製紙グループ主催 丸沼高原（群馬県）植樹祭

木を植えよう！手すきハガキ

1枚120円／10種セット1100円

宮脇昭先生の名言が入った手すきハガキ。
進和学園に通う方々が、障がいのハンデを乗り越え、牛乳パックとお茶ガラから作っています。



このハガキは、1枚につき 30 円、1 セットにつき 200 円が「いのちの森づくり基金」に寄附されます。
これまで、2, 572枚をご利用頂き、釣銭募金等を含めて71, 414円（苗木178本分）が、植樹活動に活かされました。（2011年3月末累計）

植樹手ぬぐいシリーズ

単価：900円～950円

「工房どんぐりすと」様と進和学園とのコラボによる各種手ぬぐいを販売しています。



＜お求め・お問合わせ＞
進和学園「いのちの森づくり友の会」事務局
(担当：石井)
TEL：0463-58-5267 FAX：0463-58-2675

■ 「いのちの森づくり」の輪・和・ワッ！

< 矢ヶ崎 朋樹 > (国際生態学センター 研究員)

1本のヤマモモの樹から生まれた、自然・人との「出逢い」

三浦市初声町和田に、推定樹齢600年、知る人ぞ知るヤマモモの大木があります。三浦市の保護樹木に指定されているこの大木は「芹沢家のヤマモモ」と称され、所有者の芹沢さんが代々守ってこられたものです。ふるさとの巨樹・巨木の種子を拾って「地元の森を育むための苗木」を作れないか、と考えていた矢先、その「芹沢家のヤマモモ」に赤く熟した果実がたわわに実っているのを見つけました。

早速、芹沢さんに連絡を取ると同時に、進和学園の皆さんに相談しました。芹沢さんは果実の収穫を快諾してくれました。

進和学園「どんぐりグループ」の皆さんも平塚から駆け付けてくれました。収穫当日、皆で道路脇に落ちた果実を拾っていると、農作業から戻ってきた芹沢さんご夫妻がやってきて私達に声をかけてくれました。そして、ヤマモモにまつわる色々な話をして頂きました。その話は「人のくらしと自然とのつながり」を考えさせられるとても貴重なものでした。進和学園の取り組みを当日同行取材していたスタッフの方々もこれを機に、「芹沢さんとヤマモモ」を引き続き追いかけることになりました。まさに、1本のヤマモモの樹を通じ、自然への新たな「気付き」と共に、人との素晴らしい「出逢い」が生まれて行った一時でした。

そのおよそ10カ月後、研進の出縄さんより「あのヤマモモの種から芽が出ました！」との報告を頂きました。育苗に携わる全てのスタッフの皆さんへ、この言葉を送りたいと思います。「芽出度（めでた）し！」



矢ヶ崎さん（後列右から3人目）のご指導により「芹沢家のヤマモモ」の実を収穫しました。（2010.6.28）



今春、発芽したヤマモモ
～ 大切に育てます！～

< 荒 昌史 > (NPO 法人 GoodDay 代表)

私達 GoodDay は、自然と人、人と人との距離が近くなり、もっと笑顔があふれた日々を過ごせることを目指して首都圏を中心に環境活動を行っています。

進和学園の皆さんとの出会いは、神奈川県湘南国際村「めぐりの森」にて・・・まさに、森が巡り逢わせてくれた出会いでした。それからというもの、進和学園さんの「いのちの森づくり」をはじめとする事業の意義や何事も明るく前向きに、そして熱心に取り組む姿勢に共感と尊敬の気持ちを抱いています。



進和学園の皆さんといると、こちらまで明るく前向きな気持ちになりますし、また、GoodDay では学生ボランティアが多く活動しているのですが、とても良い刺激を受けているようです。

そして、何より森づくりは単純に木を植えて終わりというものではなく、苗木づくりから育っていく過程まで多くの人が関わり、そうする中で自然と人、人と人の距離が縮まり、共生への道が開けてくるものと思います。進和学園さんと共に森づくりをさせて頂くことは、私達が目指している日々に近付いていく手ごたえを感じさせてくれ、勇気付けられながら、一緒にさせて頂いています。

これからも「いのちの森づくり」から多くのことを学ばせてもらい、笑顔があふれる森を進和学園の皆さんと共に増やしていきたいです。



< 石田 和之 > (株式会社 船井総合研究所 経営コンサルタント)



進和学園様との出逢いは、今から3年前のこと。

「世界のHONDAと連携し、障がいのある方たちに日本でトップクラスの賃金を支払っている福祉工場がある」と聞き、取材で訪れたのがきっかけです。

ISO9001を取得し、高いレベルで品質管理を行なっている工場を見学し感動する一方で、当時、まだ、苗木を育て始めたばかりだった「いのちの森づくり」プロジェクトの話を伺い、大きな可能性を感じたことを今でもよく覚えています。

というのも、直感的に、関わる全ての人達が笑顔になる姿をはっきりとイメージできたこと、そして、まさに、今の地球や社会にとって必要な価値ある事業だからです。我々は地球の一部です。地球がこのまま病み続けたら、我々も生きていくこ

とができなくなります。また、今、社会で病んでいく人が増えていたり、生きづらい方が増えているのは、社会が病んでいるからです。

森を育て、人を育てる「いのちの森づくり」プロジェクトには、地球環境や社会の問題を解決する力があります。老若男女健障ごちゃまぜとなって活動の輪を広げ、笑顔あふれる未来を共に創っていきましょう。

< 石井 時江 > (進和会 ～進和学園利用者保護者会～)

小高い丘の上から町を眺めてみると、山や河、公園、マンション、高速道路、工場、スーパー、立ち並ぶ家々など多くの人々が生活していることが分かります。ただ、その中に緑が少なくなっていることにも気付かされます。緑の木々や草花は、二酸化炭素を吸い空気を綺麗にしてくれることや私達の心の安らぎになってくれることは知られていますが、年々少なくなっています。

そんな時、「いのちの森づくり」の植樹祭に出会い、緑を増やすために、「どんぐり」の木をはじめ、色々な木々を植樹していることに感動しました。よくテレビなどで、小さな木を持って「木を植えよう！」というシーンを見かけたことがあると思いますが、小さな木は小さな種が成長したもの・・・、「いのちの森づくり」でも、ポット苗づくりから始めて植樹をしています。特に「どんぐり」の木は、少し注意して見てみると、神社や公園などにあり、調べてみると種類の多いことに驚かされます。「どんぐり」一粒が、あんなに大きな木に成長して、また多くの実を結んでくれるなんて、ちょっぴりトトロの世界でしょうか？今年も新しい「どんぐり」の種類を見付けて、「どんぐり」拾いをしたいと思います。

皆さんも木を植えてみませんか？



石井時江さん (後列右端)

湘南国際村めぐりの森にて (2010.5.2)

～歌手の白井貴子さん (後列左から3人目) と～

< 中野 弘美 > (サポーター)

「どんぐりハウス」でお手伝いをさせて頂いている中野です。実家で、以前使っていたビニールハウスを進和学園さんが苗を育てる場として利用して下さったご縁で、姉と共に水遣りやハウスの開閉などをさせて頂いています。5年目の今年は、去年にも増し、苗もぐんぐんと育っています。今はまだ小さな苗ですが、いつか立派な木となり「いのちの森づくり」に役立つ日が来ることを心待ちにしています。そして、そのような想いを持って作業できることは、私や姉にとって大きな遣り甲斐となっています。

また、進和学園の皆さんとの交流や助け合いの中での作業は、人との繋がりを強く感じられるとても貴重な体験となっています。学園の益々のご発展と「いのちの森づくり」のご成功を祈っております。今後とも宜しくお願い致します。



中野弘美さん (後列右から2人目)

お隣はハウスオーナーでお姉さまの諸星孝恵さん。お二人には苗木の栽培管理について、大変お世話になっています。

ー進和学園「どんぐりハウス」にてー

2010年度「いのちの森づくり友の会」基金収支報告

(2010年4月1日～2011年3月31日)

	科 目	金 額	備 考
収入	個人会員収入	742,000円	53名
	団体会員収入	2,498,193円	17団体
	宮脇先生ハガキ 売上げ友の会収入	41,480円	2010年度下期分の収入15,604円は、2011年度の収入として計上。
	利息収入	169円	普通預金利息
	前年度繰越金	1,320,238円	
	収入合計	4,602,080円	(参考：前年度 2,525,038円)
支出	ポット苗購入・ 作業等への助成 (進和学園作業 会計への充当)	2,467,410円	P. 8～9掲載の17件の植樹・育樹関連事案に要した費用。 金額は、社会福祉法人進和学園「いのちの森づくり基金」活用 基準(注：「しんわルネッサンス」ホールに掲示)により計算。 (注)・苗木単価：400円(樹高30cm以上・樹種不問) ・稲藁、竹串、藁縄等の資材：市場価格に準ずる。 ・労務工賃：最低賃金の1/2以上の時給を確保。 ・交通費その他諸経費：実費 (参考：前年度 1,204,800円)
残高	次年度繰越金	2,134,670円	(参考：前年度 1,320,238円)

「いのちの森づくり友の会」のご案内

進和学園「いのちの森づくり友の会」は、私達の活動にご賛同頂ける方に「友の会」の会員になって頂き、その会費を基金に充てる制度です。会費は、「友の会」より「社会福祉法人進和学園いのちの森づくり基金」に寄附されます。

会費(寄附)は、個人会員様には所得税の寄附控除(2千円以上)、事業所会員様には損金の限度内算入が認められます。

会 員	会 費
個 人	1年 1口 1,000円 から
団 体	1年 1口 10,000円 から

会報発行に寄せて

全ては2005年10月31日のご縁から始まりました。宮脇昭先生に「しんわルネッサンス」の工事現場をご視察頂き、「造園業者を儲けさせるだけの偽物の樹を植えるのか、それとも本物の樹を植えるのか、この場で覚悟を聞きたい」と迫られ、全員が目を白黒させたのを昨日のように思い出します。以来、先生の情熱に引っ張られて、「どんぐり」から苗を育てる試行が始まり、その後、作業種の一つとして成長して行きます。

2006年10月、研進と進和学園各施設の協働体制でプロジェクトがスタートし、2008年の経済危機以降、ホンダ車部品組立作業の激減を余儀なくされたことにより、2009年度、「しんわルネッサンス」の所管となりました。

ホンダ車部品の仕事に働き甲斐を感じている利用者が多く、他の仕事に従事頂くことを危惧しましたが、生き物を育て自然の中で汗を流すことに喜びを感じる利用者も多いことに気付かされました。

特に、自分達で「どんぐり」を拾い、育て、植えた苗が、20年30年先、森に成長して行くという、環境に貢献できる夢の持てる仕事です。併せて障がい者の就労支援の一環として期待できるとなれば遣り甲斐は倍増です。そして、もう一つの大きなご縁、植樹場所の開拓や障がい者の自立を強力に後押しして下さい「友の会」にご賛同頂いている団体・個人の皆様には、深く感謝を申し上げたいと思います。

社会福祉法人 進和学園

「しんわルネッサンス」所長 久保寺 一男



イラスト提供：

「工房どんぐりすと」冬木麻依子様

進和学園「いのちの森づくり友の会」会報(第2号)

発行：進和学園「いのちの森づくり友の会」事務局

編集：(株)研進(就業支援団体)：樫貴 美根光

2011年 6月 吉日